

水草等対策技術開発支援事業実績

採択年度	令和2・3年度	事業者名	NPO 法人環境サステナブルリサーチラボ
補助事業名	<p>令和2年度:Mg 酸化物添加材を用いる侵略的外来水生植物の新規繁茂抑制技術の開発</p> <p>令和3年度:侵略的外来水生植物の刈り取り除去後の Mg 酸化物添加処理による繁茂抑制手法の開発</p>		
補助事業結果概要	<p>水草の水中根の減少と生育必須元素濃度の減少を見出した Mg 酸化物散布材について、寒天培地により栄養条件をコントロールした実験系を確立し、侵略的水生植物であるナガエツルノゲイトウに対してその繁茂抑制効果を検証したところ、茎芽や根の生育を抑制する効果を再確認することができた。以上の結果から、琵琶湖などの大規模繁殖現場では、機械的駆除の後に Mg 酸化物を散布することにより、断片の定着を防ぐことができると考えられた。</p>		
<p>本年度(令和5年度)の状況</p> <p>・技術開発等の状況を含む</p>	<p>(令和2年度)</p> <p>ナガエツルノゲイトウの現地における繁茂抑制効果を検討する試験の準備を行っている。具体的には、千葉県における繁茂状況として印旛沼について現地に行き、繁茂状況を調査した。</p> <p>(令和3年度)</p> <p>Mg 酸化物の添加によるナガエツルノゲイトウの繁茂抑制効果を検証するため、千葉県印旛沼などにおける現地試験の可能性を調査した。具体的には、農業・食品産業技術総合研究機構などに連絡を取り、現地試験の可能性について引き続き討議した。</p>		
備考			